



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.8.2 No. 4442

戦争責任を追究し憲法改悪に反対する 8・15東京集会に起ちよ!



被爆51周年 安保強化を許さず 日本の戦争責任を問う

今年も、「戦後五〇年を問う八・一五労働者市民の集い全国統一実行委員会」主催による、「戦争責任を追究し、憲法改悪に反対する八・一五東京集会」が開催されます。

昨年九五年は、「戦後五〇年」配階級はこの「戦後五〇年」を最大限政治的に利用し、あらゆる戦後のなものを清算し、アジアへの新たな侵略戦争のできる国づくりを、社会党・村山政権のうちに強行しようとしてきたのです。

その焦点が、敗戦の日である「八・一五」でした。すべての

政治勢力が「戦後五〇年」、戦争責任に対し、どのような態度をとるのかが問われたのです。

動労千葉は、この八・一五にたいし、全国に呼びかけ各地で集会を行い、東京集会では、二〇〇名が参加する中、大成功をかちとりました。

また、この成功は、「JR総連革マルの「九条連運動」なるデマ運動を打ち破り、その取り組み過程でこれまでのレベルをはるかにこえた広範な闘いの陣型がつくられるなど画期的なものでした。

今年の集会は、昨年にもまして重要な取り組みです。日米安



保共同宣言の発表、有事立法制定や憲法改悪が策動され、再び朝鮮・アジアへ向けた侵略の足音が高まっているなかで、私たちに、するどく闘いの実践が求められています。

クマラスワミ報告をはじめ、日本の戦争責任を問う声は国内外で日増しに高まっています。こうしたなかで、奥野元法相など侵略戦争を賛美する国会議員は「軍隊慰安婦は商行為」などと暴言を繰り返しています。

「八・一五」に、新ためて、闘いへの決意もこめて、日本が侵してきた侵略戦争の歴史と残酷な行為を許さず、国家責任天皇の戦争責任をはっきりと問いたださなければなりません。

当面するスケジュール

・改憲阻止！八・一五東京集会

日時 八月二十五(木) 一三時から一七時三〇分

場所 東京・杉並 西荻勤労福祉会館ホール

集合 千葉駅一〇番線 二時一六分快速列車最後部

・動労千葉第二三回定期大会

日時 九月二十九日〜三〇日

正念場を迎えた国鉄闘争の勝利を！全力で結集しよう！